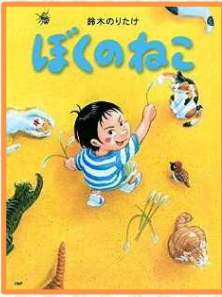


大好き！絵本

初瀬 恵美



『ぼくのねこ』
文・絵：鈴木のりたけ
出版社：PHP研究所

子どもたちに大人気の鈴木のりたけさんの『ぼくの～』シリーズ第5弾は、『ぼくのねこ』。注文して保育園に届くと、さっそく大人気！そこで、今月はこの絵本を紹介したいと思います。

今までの4作との大きな違いは、猫が「まいにち おなじもようじゃ つまらない でしょ？」と言い始めるところです。猫の言葉をうけて、「なるほどね！それなら いっしょに かんがえてあげる」と話が始まります。

これまでは、「ぼく」が「毎日おなじじゃ、つまらない」と、身近にある「おふろ」や「トイレ」、「ふとん」や「学校」をあんなのは、どうかな？こんなのはどうかな？とユーモラスに考える絵本でした。途中でハプニングがおきたり、「ウォーリーをさがせ」のような展開があったりします。最後まで飽きることなく楽しませてくれるので、何度も繰り返し見たくなる絵本ばかりでした。

さて、今回は・・・と読み始めると、やはりすぐに鈴木さんワールドに引き込まれてしまいました。「ぼく＝鈴木さん」のイメージのふくらませ方は、もはや天才的！（だからこそそのベストセラーなんでしょうね）スイカ模様の猫になったり、生まれた国が一目でわかる国旗猫になったり、下のイラストのように、あんな模様にこんな模様の猫などなど。子ども心のみならず、大人心もくすぐる絵本です。

毎日暑くて夏バテしそうですが、なぜか子ども達と一緒にこの絵本をみると元気が湧いてきます。きっと、子どもたちのキャッキョットはずんだ声が、疲れを吹き飛ばしてくれるのかもしれませんが。頑張らずに読める、しかも読んだ後に爽快感が味わえるような楽しい一冊です。ぜひ一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。



画像 Amazon HP内『ぼくのねこ』（「出版社より」から）

7月誕生日おめでとう